

おもな学校行事予定(1月～3月)

	大学	高等学校	中学校	小学校
1月	9(火) (法科大学院)後期授業再開 10(水) 後期授業再開 16(火)～18(木) 後期補講期間 19(金) 後期授業終了 20(土) (法科大学院)後期授業終了 20(土)、21(日) 大学入試センター試験 22(月)～2/2(金) 後期定期試験 22(月)～27(土) (法科大学院)後期補講期間 29(月)～2/10(土) (法科大学院)後期定期試験	10(水)、11(木) 推薦テスト 12(金) 始業式 22(月)～27(土) 文化部発表会 23(火)～30(火) 一般入学試験願書受付	9(火) 始業式 10(水) 国際学級入学試験 20(土)～23(火) 一般入学試験願書受付 22(月)～27(土) 文化部発表会	9(火) 始業式 10(水)～2/27(火) 国際学級入学試験願書受付
2月	3(土)～3/29(木) 春期休業期間 11(日)～14(水) A方式入学試験(理工・文・経済・法学部) 11(日)～3/30(金) (法科大学院)春期休業期間	10(土) 入学試験 14(水) 帰国子女入学試験 21(水) マラソン大会	1(木) 入学試験 21(水) 耐寒健歩会	21(水) 小学校枯林忌
3月	20(火) 学位授与式	1(木)～13(火) 2年編入学試験願書受付 1(木)～6(火) 学年末テスト 7(水) 卒業式 14(水) 2年編入学試験 17(土) 終業式・保護者会	1(木)～6(火) 学年末テスト 9(金) 球技大会 16(金) 終業式・保護者会 17(土) 卒業式	3(土) 国際学級4年入学試験 14(水) 6年生を送る会 19(月) 卒業式 20(火) 終業式

2月21日(水)は学園創立者・中村春二先生の命日です。先生は枯林という雅号を持っておられました。成蹊学園では先生の命日を「枯林忌」として先生をお偲びしています。3月23日(金)は建学の日です。

成蹊気象観測所

成蹊気象観測所(学園登録名称は「成蹊天文気象観測所」)は成蹊学園所属の私立気象観測所であり、一九二六(昭和元)年、旧制成蹊高等学校物理科担当教諭・加藤藤吉^{かとうとうきち}によって開始された学校気象観測がその源となっている。加藤藤吉は元来「理科教育は生徒自身が実験・観察を行うことを主体に進展させるべきだ」という教育観を持ち、その一環として有志生徒らと「気象観測法」に準拠した正式な観測を開始した。

気象観測において加藤藤吉は、刻々と移り変わる自然の姿をありのままに捉え記録することに努め、生徒と共に風雨寒暑、日曜祝日はもとより戦時中の空襲爆撃の下でも観測を続けた。しかし生徒による定時観測は、授業時間の都合上次第に縮小され、いつしか教諭と観測助手に移行された。一九五九(昭和三四)年、加藤藤吉の本務退職を契機として「成蹊天文気象観測所」が新設され現在に至っている。

加藤藤吉の理科教育に対する情熱により生まれた成蹊気象観測所は、これまで多年に渡り観測に従事した多くの教職員や生徒及び観測助手により一日の欠測もなく守り育てられてきた。成蹊気象観測所は正式な気象観測を開始以来、八十年を経過した現在でも、生徒が気象の変化を肌で体感する学校気象観測の場として利用されている他、観測データは東京近郊の気候変化を示す統計資料として各関係機関に提供する等、学園内外を問わず重要な役割を担っている。



加藤藤吉



旧理化館南側にあった旧露場

成蹊学園史料館二〇〇六平成一八年度特別講演会のご案内
成蹊学園史料館では、「成蹊気象観測所」をテーマに特別講演会を開催します(入場無料・事前申込不要)。
【開催日時】二〇〇七年平成一九年二月十三日(金) 十三時開場
【会場】成蹊学園史料館 二階研修室
【問合せ先】成蹊学園史料館 〇四二二・三三七・三九九四



成蹊学園広報

2007年1月10日 発行 学校法人成蹊学園 総務部広報課
東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 (0422)37-3517
URL <http://www.seikei.ac.jp> E-mail koho@jim.seikei.ac.jp

SCHOOL JURIDICAL PERSON SEIKEI GAKUEN

成蹊学園 広報

第64号
Winter
2007

「新・成蹊創造プラン」さらなる飛躍へ ～新時代が求める真の国際人の育成を目指して～

【CONTENTS】

- 2 新年を迎えて
- 4 特集 国際教育センター
- 6 2006年度の就職状況について
- 7 桃李の人々(小澤 順一郎氏)
- 10 大学の近況
- 12 中学・高等学校の近況
- 14 小学校の近況
- 16 創立100周年記念事業募金局からのご報告
- 18 健康支援センターから／学園TOPICS
- 20 学校行事予定(1月～3月)／学園史料館から

Aグループ昇格を果たした成蹊大学ラグビー部



新年を迎えて



理事長
岸 暁

理事長略歴

1950年	成蹊高等学校(旧制)卒業
1953年	東京大学経済学部卒業 株式会社三菱銀行入行
1998年	株式会社東京三菱銀行頭取
1999年	成蹊学園理事
2000年	株式会社東京三菱銀行取締役会長
2002年	成蹊学園理事長 株式会社東京三菱銀行相談役 ※現・三菱東京UFJ銀行相談役

皆さま、あけましておめでとうございます。
清らかな気持ちで新年をお迎えのことと思います。

昨年は我が国にとって大きな出来事は何と言っても政権交代であろうと思います。新総理に本学園出身の安倍晋三氏が就任されたことは学園始まって以来のことで、我々等しく誇りとするところです。いろいろと困難で微妙な問題が山積し、また外交問題は我が国だけでは解決できず、相手のあることですから、ご苦労は一方ならぬものがあると思いますが、ご健闘をお祈り致します。

さて昨年、我が国経済はマクロとしては引き続き順調な推移を辿りました。企業部門の好調が賃金・家計部門に順調に繋がって来ないのが心配ではありますが、今後好循環がもたらされると期待されます。

国際的には我が国にとつての最大の問題は何と言っても北朝鮮問題でしょう。特殊な政治体制の国だけに解決は一筋縄では行きますまい。イラク問題も解決の糸口が掴めず、米国中間選挙での民主党勝利という

うものです。のちほど述べる「大学キャリア支援センター」とともに一人ひとりの進路発見をサポートし、学園の卒業生からは一人のニートやフリーターも生まないことを目指しています。

また小学校の建設計画も着手されており、成蹊出身の建築家坂茂氏と三菱地所設計の共同設計による斬新な建築で、二十八人四学級制に向けてスタートし、二〇〇八年にはさらなる少人数教育が展開されます。そのためいよいよ今年の初めから仮校舎に移転し、旧校舎の解体、新校舎の建設が始まり、来年二学期から使用を開始します。一人ひとりの居場所のある学校、ふれあいのある学校が実現すると期待しております。

大学ではキャリア支援センターが発足し、北川教授がセンター長に就任されました。これは単に就職支援の業務処理ではなく、成蹊大学が独自に開発したガイダンスをベースに自分を見つめなおすことから進路発見・開拓に繋げていくもので、成蹊ならではの教育と言えそうです。

ここで一つ皆さまにお詫びしなければならぬことがあります。学園各学校の意思決定の仕組みや実行のメカニズムが効率的で合目的であるかを三菱総合研究所をコンサルタントとして検証し、問題点として指摘された組織や権限、決定メカニズムの改善を行うこととお約束しましたが、残念ながら一年間全く進展がありませんでした。これは手をつけるとなるとマイナーチェンジでは済まず、殆どすべての仕組みにわたって改革を必要とする上、どのような考え方で改革を行うか、議論をつめるには時期尚早であったことにもよると思っています。

結果をもたらし、今後の推移が注目されます。

こうした中、学園は一昨年に引き続き、一〇〇周年事業をすすめました。九月には一〇〇周年事業の目玉とも言うべき「情報図書館」が完成し、学園前庭に全容を現わしました。今までの図書館のイメージからはかなり違い、明るい建物で、図書の閲覧、学習だけでなく、学生が集いやすい建物で、学園内の交流に役立つのではないかと期待されます。

中学のホームルーム棟も既存の建物を解体し、新校舎が着工しました。これが完成しますと次は高校のホームルーム棟の建設が控えており、中高一貫教育に向けて環境はでき上がります。これに盛り込むべきソフットは「中高施設再開発準備委員会」で周到に検討され、中高一貫教育プログラムが学生の成長段階にに応じて、導入期・充実期・発展期にそれぞれ相応しく組み立てられ、特に発展期は進路期とも位置付けられ、クラスを進路別に細分して、一人ひとりの能力・個性に応じた進路に進ませようという

ます。しかし学校経営を取り巻く環境はそう言うてはいられない状況にありますので、今年もう一度挑戦してみるつもりです。

法科大学院の第一回修了生による司法試験が行われ、成蹊からは十一人の合格者を出すことができました。

こうして一〇〇周年記念事業は順調に進んでおりますが、募金の方は一〇〇周年に向けてちょうど折り返し点ということかと思えます。入金状況は折り返し点から遠いという訳ではありませんが、これからが胸突き八丁ということかと思えますので、引き続きご支援をよろしくお願い致します。

安倍総理は教育改革を最優先に進められようとしております。教育改革は基本法一本で済むものでもなく、コミュニケーションが一つできれば終わりというものでもありません。殆どどの世界でもそうなのですが、組織として合目的に動いているかどうかのチェック機能が働いております。一義的には会社なら監査役、団体ならば監事が担うべきことかと思いますが、それだけでは足りず、全ての部署において自浄作用的なチェック機能が働いていなければ組織の目的が達せられません。これを実現することが私は教育改革のゴールだと思っています。

ただ居心地の良い学校で、生徒も人柄が良いというだけでは、到底中村春二先生が理想とされた教育には程遠いと言わざるを得ません。一〇〇周年を良い機会として建学の理念に立ち返り、立派な卒業生を輩出する学園になるよう今年も頑張る所存です。で、どうか引き続きご理解とご支援をお願い致します。



ケンブリッジ大学短期留学



100周年記念事業をソフト面からリードする 国際教育センターの多角的な活動



設立から三年目を迎える国際教育センター。
小学校から大学まで。学園縦断の取り組みがさらに進展しています。

情報リテラシーを高めること、国際交流を可能とするコミュニケーション能力を身につけること、近代の歴史教育に力を入れること。これらを目指す「100周年記念事業」新・成蹊創造プラン」のトップを切つて、二〇〇四年四月、国際教育センターは設立されました。成蹊の特長である、小・中・高・大学を擁する総合学園にふさわしい、各校を縦断した国際理解教育を実践し、教育機関としての社会的役割を果たすことを目指しています。

各校が共通の目標を持って 国際理解教育を行っています

成蹊学園は、同一キャンパスにすべての成長段階の学校が揃っている数少ない学園のひとつです。その特長を活かして、一貫教育、連携教育を進められることは、大きなメリットであり、また新しい可能性を秘めています。国際教育センターは、学園全体として国際理解教育をすすめるために、小学校から大学までの教職員によって構成され、様々な取り組みを行っています。

設立当初より「小・中高・大連携教育」「コミュニケーション能力の開発」「国際交流」「国際理解教育」「人材育成」を目標として掲げ、推進しています。

まず、総合学園ならではの教育力を活かし、小学一年生からネイティブ・スピーカーの教員による英語のクラスを導入。英語を楽しみ、好きになることを目標に、一人ひとりの個性と表現力を育てるための英語教育を早い段階から行っています。英語がグローバル・スタンダードと

ケンブリッジ大学へ 高校生が短期留学を体験

中学校、高等学校とも、英語は国際共通語であるとの観点から、十分な時間を確保し、ゆとりを持って授業をすすめています。学年によって、少人数グレード別クラス編成なども行っています。

国際教育センターを核に大学との連携が密に行われているのも中学・高等学校の特色です。たとえば、異文化理解を深め、国際感覚を磨くために、近現代史教育の充実に力を入れています。興味ある生徒は、本センターが編成にあたる国際教養科目をはじめ、多くの大学科目を先行して履修でき、入学後は単位として認定する制度も設けています。

中学・高等学校では、アメリカのセントポールズ校、オーストラリアのカウラ高校と姉妹校提携を結ぶなど、長期・短期、様々なかたちの国際交流を図っています。セントポールズ校とは半世紀を超える交流の歴史があり、ここでの留学体験者は、卒業後、ハーバード大学やプリンストン大学などに進学し、各界で活躍しています。

二〇〇六年夏には、ケンブリッジ大学で三番目に古いペンブルック・カレッジが運営する国際プログラムへ三〇名の生徒が短期留学しました。

なった今、英語圏のみならず、コミュニケーション手段として英語はなくてはならない存在です。そのため特にコミュニケーション能力の開発を重視した英語教育を行っています。同時に語学だけに特化することのない

真の国際性を育てる国際理解教育を実現するために、国際性を持つテーマを取り上げた授業科目を充実しています。さらに、帰国子女や外国人留学生の受け入れを積極的に進めてきたという伝統も受け継ぎ、日常的に異文化交流ができる環境も整えています。

国際教育センターでは、二〇〇六年度、学園規模での「国際交流賞・国際研究賞」をスタートしました。これは、小学校から大学院まで、それぞれすべての児童・生徒・学生を対象に、国際性に富んだ活動を評価しようというものです。授業や行事はもちろん、外部団体での活動、家庭内での国際交流活動など多彩なテーマで受け付けました。このように毎年新しい取り組みも積極的に進めています。

これは成蹊大学とのつながりを持つ同カレッジが成蹊高校生のために用意した独自のものです。国際教育センターと中高国際教育委員会が中心となつて企画運営にあたり、二年間の準備を重ねて実現しました。三週間にわたり、英語研修と現代イギリス社会論を学んだほか、歴史的建造物や美術館を見学するなど、異国の文化に触れる体験を持ちました。この画期的なプログラムはこれからも継続して行っていく予定です。

大学での国際理解教育

大学内の四つの学部の垣根を超えて、それぞれの専門にプラスした豊かな国際性を育てていくことが、国際教育センターの役割です。その実現に向けて、「歴史に学ぶ」「現代を生きる」「世界と日本」という三つの分野に区分された国際教養科目を設置しています。さらに、文系三学部にも所属する選抜された学生向けに設置されている国際コースに多くの授業を開講。国際社会における知識や洞察力を磨き、英語によるプレゼンテーションなども行い、より高度なコミュニケーション能力を高めています。その他、国際教育、国際交流、英語学習をテーマにした講演会や留学生との交流会の開催、TOEFLの受験講座等を開講しています。

英語を教科として指導する 小学校での英語教育

公立の小学校が「総合学習」の中で月に数回英会話などの授業をするのに対し、成蹊小学校では教科としての「英語科」をカリキュラムに取り入れ、一・二・三年生は週一時間、四年生以降は週二時間をあてて、講師五人（内ネイティブ・スピーカー四人）体制で教育を行っています。英会話を中心に、伝達能力や表現力の向上にウエイトを置いています。

また、国際教育センターでは、希望者を対象に「Read Aloudワークショップ」（コラム参照）を実施しています。図書室には英語の絵本や図鑑、読み物などが三〇〇冊ほどあり、日常的に幼いときから英語に触れられる環境を整えています。

現在のようなかたちで英語教育を行いはじめてから、まる五年。二〇〇七年度には、英語の授業を六カ年受けた最初の卒業生が中学校へと進学します。小学校の成果がどのように連携されていくのか、期待されています。



“Extensive Reading”とは？

目や体で味わった英語が、次への大きなステップへ

やさしい英語で書かれた絵本や薄いペーパーバックなどを、自分のペースで楽しみながら読みすすめていく学習法が“Extensive Reading”。やさしい英語を無理せず眺める。できるだけたくさん量を読む“多読”が第一の目標です。

多読をすすめることにより、この文脈のときにはこういう英語表現を使うのだと、知らず知らずのうちに自然な英語が覚えられます。効果的な教育方法の一つとして、最近注目を集めています。センターでは設立当初から力を入れて取り組んできました。大学には全国初となる多読専用教室を設け、実際の講義にも取り入れています。“多読”用の教材は、情報図書館や中学・高等学校にも完備し、広く活用できるようにしています。



また、小学校でも“多読”の一環として、“Read Aloudワークショップ”を定期的に行っています。低・中・高学年に分かれ、講師の発音を真似しながら、参加者全員で声を出して英語の絵本を読んでいます。日本語と英語の音の違いを、実際に発音することで理解していくのです。単語がわからなくても、絵を見ながら、場面を考えながら、読みすすめていくので安心です。児童のみでも、親子でも参加できる楽しいイベントとして定着し、継続して参加する方が増えています。

このほかに、成蹊大学と協定を締結した八カ国に広がる協定留学、自分で留学先を選んで留学する認定留学といった、短期から長期まで様々な留学制度を充実させています。豊富な各種奨学金制度とあわせて、他大学をリードするかたちで積極的に授業料減免制度を導入。協定留学では、派遣期間中の成蹊大学への授業料等納付金を全額あるいは三分の二減額するなど、学生の留学に対する経済面での配慮を行っています。

桃李の人々

第12回

清酒『澤乃井』でお馴染みの小澤酒造株式会社。

元禄15(1702)年以来、創業300有余年の伝統を誇るこの酒蔵の社長を務めるのが、小澤順一郎さんです。

中学校から大学まで、成蹊学園で学ばれた小澤さんに、

当時の思い出と、酒造りにかける意気込みを語っていただきました。

小澤 入学してすぐに卓球部に入ったのですが、部活動を終えてから帰るとなると夜遅くなつてしまします。仕方なく一年で退部することにしました。勉強のできる生徒なら両立も可能だったかもしれませんが、成績がそれほど芳し

小澤 自宅が青梅線の「沢井駅」近くで、おそらく中学校の中で私が最も遠くから通っていた生徒だったと思います。電車の本数もそれほど多くなく、中学生の頃は朝六時十分発の電車で飛び乗っていました。

すると、クラブ活動などに参加するのは難しかったでしょうね。

歴史への興味を喚起された高校世界史の授業

成蹊学園で学ばれたのは中学校からです。



小澤 順一郎

Jyunichiro Ozawa

小澤酒造株式会社

取締役社長

小澤 ええ。その後、日本史に興味が向かい、とりわけ戦国時代から江戸時代にかけての歴史に夢中になりました。長い内戦の時期を経て、徳川家康が平定したわけ

膨らんだのですか。

それによって、歴史への興味がある」というように理解した覚えがあります。

中学校・高校で印象に残っている授業はありますか。

高校生の時の担任が世界史の上木敏郎先生でした。特に中国史に精通しておられ、詳しく教えていただきました。「歴史とは、それぞれの時代に起きた事象を、単に覚える学問ではない。前後にどのような変化が起きたのかを見据えて、その要因を考える学問である」というように理解した覚えがあります。

小澤酒造が創業したのは家康が統一したから!?

ただ、為政者が変わったとしても、文化だけは影響を受けず、綿々と継承されていくものではない

小澤酒造が創業したのは家康が統一したから!?

小澤 そもそも当家は甲斐の武田の家臣で、武田家滅亡の折に青梅に移り住みました。その際、再興のための軍資金を託されていたようです。そういう家臣が方々に散って、いざ再興の旗が掲げられた暁には、挙兵して集結することになったという推測されます。軍資金が埋められたという場所も存在します。もっとも、父も私も探してみました

小澤 ええ。その後、日本史に興味

小澤 ええ。その後、日本史に興味

二〇〇六年度の就職状況について

二〇〇六年度の大学新卒者の有効求人倍率は一・八九倍と、バブル期である一九九〇年度の二・八六倍に次ぐ高い水準でした。

このような採用状況の中で、就職希望者一五二九名(内工学研究科六二名)の十一月十日現在の内定率は、八三・三％と、昨年同期より一・八％高くなっています。

内定状況を見てみますと、文系女子では、金融業界への内定が堅調で、三菱東京UFJ銀行や東京海上日動火災保険など、多くの企業で内定者の数が昨年より増加しました。また、大手企業への女子総合職の内定も目立ち、三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、伊藤忠商事、本田技研工業、マツダ、小松製作所などに内定しています。

一方、文系男子でも、メガバンクへの内定者が増加するとともに、日立製作所、三菱電機、大日本印刷、凸版印刷、清水建設、竹中工務店、明治製菓など業界を代表する企業に数多くの学生が内定しています。

また、工学部・工学研究科の学生も、東芝・三菱電機・日本電気・本田技研工業・日産自動車・石川島播磨重工業などの大手メーカーをはじめ、多くの優良企業に内定しており、堅実に実績を積み重ねています。おもな内定企業は下表の通りです。

(キャリア支援センター)

おもな内定企業一覧

(2006年11月10日現在)

企業名	合計 (内女子)	内訳		企業名	合計 (内女子)	内訳		企業名	合計 (内女子)	内訳	
		文系学部 (内女子)	工学部 (大学院含む) (内女子)			文系学部 (内女子)	工学部 (大学院含む) (内女子)			文系学部 (内女子)	工学部 (大学院含む) (内女子)
(株)みずほ銀行	55(50)	50(46)	5(4)	警視庁	3(2)	2(2)	1	三菱スペース・ソフトウェア(株)	2(2)		2(2)
東京海上日動火災保険(株)	32(31)	32(31)		(株)JTB首都圏	3(2)	3(2)		三菱マテリアル(株)	2	1	1
(株)三菱東京UFJ銀行	27(20)	27(20)		住商リース(株)	3(2)	3(2)		アイシン精機(株)	1		1
(株)損害保険ジャパン	19(18)	19(18)		(株)高島屋	3(1)	3(1)		曙ブレーキ工業(株)	1	1	
みずほ信託銀行(株)	15(15)	15(15)		東京電力(株)	3	1	2	厚木市役所	1	1	
日本生命保険(相)	14(13)	13(12)	1(1)	(株)トーハン	3(2)	3(2)		いすゞ自動車(株)	1		1
(株)ジェーシービー	13(12)	13(12)		日本電気(株)	3		3	出光興産(株)	1(1)	1(1)	
(株)三井住友銀行	13(6)	13(6)		日本紙パルプ商事(株)	3(1)	3(1)		伊藤忠商事(株)	1(1)	1(1)	
(株)日興コーディアル証券	11(3)	10(2)	1(1)	マックス(株)	3(1)	2(1)	1	(株)INAX	1		1
三井住友海上火災保険(株)	9(8)	9(8)		三菱商事マシナリ(株)	3(2)	3(2)		(株)エヌ・ティ・ティ・データ	1(1)		1(1)
第一生命保険(相)	8(7)	8(7)		三菱UFJ信託銀行(株)	3(3)	3(3)		(株)エヌ・ティ・ティ・ドコモ	1	1	
凸版印刷(株)	8(1)	6(1)	2	(株)村田製作所	3(3)	3(3)		(株)協和エクシオ	1		1
大同生命保険(株)	7(7)	7(7)		明治製菓(株)	3	2	1	協和醗酵工業(株)	1	1	
(株)大和証券グループ本社	7(6)	7(6)		(株)守谷商会	3(2)	3(2)		KDDI(株)	1		1
(株)東京都市銀行	7(2)	7(2)		森村商事(株)	3(2)	3(2)		国際協力銀行	1(1)	1(1)	
(株)東芝	7(3)	2(1)	5(2)	(株)日立製作所	3	2	1	国家公務員	1(1)	1(1)	
東日本旅客鉄道(株)	7	3	4	あいおい損害保険(株)	2(2)	2(2)		(株)小松製作所	1(1)	1(1)	
三菱電機ビルテクノサービス(株)	7(1)	6(1)	1	石川島播磨重工業(株)	2(2)		2(2)	サッポロビール(株)	1		1
三菱UFJ証券(株)	7(2)	6(2)	1	(株)伊勢丹	2	2		JFE商事(株)	1	1	
(株)八千代銀行	7(5)	7(5)		ウシオ電機(株)	2(2)	2(2)		塩野義製薬(株)	1	1	
アメリカンファミリー	6(5)	6(5)		カヤバ工業(株)	2		2	シャープ(株)	1	1	
住友信託銀行(株)	6(6)	6(6)		(株)近鉄エクスプレス	2(1)	2(1)		住友スリーエム(株)	1	1	
(株)千葉銀行	6(3)	6(3)		(株)小糸製作所	2	1	1	大日精化工業(株)	1	1	
中央三井信託銀行(株)	6(5)	5(4)	1(1)	国税専門官	2	2		高砂香料工業(株)	1	1	
東京海上日動あんしん生命保険(株)	6(4)	6(4)		新日本監査法人	2(1)	2(1)		武田薬品工業(株)	1(1)	1(1)	
東京海上日動システムズ(株)	6(4)	4(4)	2	新日本製鐵(株)	2(2)	2(2)		(株)竹中工務店	1	1	
オリックス(株)	5(4)	5(4)		(学)成蹊学園	2	1	1	中外製薬(株)	1(1)	1(1)	
共同印刷(株)	5	3	2	スズキ(株)	2		2	千代田化工建設(株)	1	1	
第一生命情報システム(株)	5(4)	2(2)	3(2)	積水ハウス(株)	2(2)	2(2)		TDK(株)	1		1
日本興亜損害保険(株)	5(3)	5(3)		全日本空輸(株)【客室本部】	2(2)	2(2)		THK(株)	1		1
野村證券(株)	5(1)	4(1)	1	高砂熱学工業(株)	2	1	1	(株)帝国データバンク	1		1
三井リース事業(株)	5(2)	5(2)		(株)電通	2(1)	2(1)		(株)テレビ埼玉	1	1	
(株)和光	5(3)	5(3)		東海旅客鉄道(株)	2(2)	2(2)		東京消防庁(I・II類)	1	1	
旭化成ホームズ(株)	4(1)	4(1)		東京都庁	2	1	1	東京特別区(I類)	1	1	
兼松(株)	4(3)	4(3)		日本証券金融(株)	2(1)	2(1)		東洋ゴム工業(株)	1	1	
国分(株)	4(1)	4(1)		日本出版販売(株)	2	2		日産自動車(株)	1		1
清水建設(株)	4	1	3	日本マスタートラスト信託銀行(株)	2(2)	2(2)		日本銀行	1(1)	1(1)	
スタンレー電気(株)	4(1)	2(1)	2	ノバルティスファーマ(株)	2(1)		2(1)	日本精工(株)	1	1	
住商情報システム(株)	4(1)	2(1)	2	(株)博報堂	2(1)	2(1)		日本特殊陶業(株)	1	1	
大日本印刷(株)	4	1	3	東日本電信電話(株)	2	1	1	日本信号(株)	1		1
日本通運(株)航空事業部	4(4)	4(4)		本田技研工業(株)	2(1)	1(1)	1	日本たばこ産業(株)	1	1	
三菱電機(株)	4	1	3	マツダ(株)	2(1)	1(1)	1	(株)ブリヂストン	1(1)	1(1)	
明治安田生命保険(相)	4(2)	4(2)		みずほ証券(株)	2(2)	2(2)		平和不動産(株)	1	1	
(株)インテリジェンス	3(1)	3(1)		三井不動産販売(株)	2(2)	2(2)		三菱鉛筆(株)	1		1
沖電気工業(株)	3		3	三菱自動車工業(株)	2	1	1	三菱重工プラント建設(株)	1	1	

桃李の人々 第12回

小澤 順一郎／小澤酒造株式会社 取締役社長



小澤 順一郎 (おざわ・じゅんいちろう)

1954年、奥多摩の山々に囲まれた沢井の地で元禄から300年以上にわたり酒造りを続けてきた小澤家に生まれる。1977年、成蹊大学経済学部経営学科卒業。材木問屋で約2年半の修行の後、家業の一つであった製材会社に勤務。その後、本業である酒造りに専念する。1992年、小澤酒造株式会社取締役社長就任。

も何も出てきませんでした(笑)。
その後徳川時代になって、頭のいい家康は、武田の金を徳川のものにするために、自分の息子に武田の家名を継がせ、勝手に再興してしまいます。お家のためという目的を失った家康が、その軍資金を使つて興したのが酒蔵だったわけです。家康が全国統一した結果が、様々なところにまで波及しているところに、歴史の面白さがある気がします。

企業の最新動向を紹介する授業に刺激を受けた

——大学の時代の思い出を聞かせてください。

小澤 恥ずかしい話ですが、大学二年生の時に留年してしまいました。けれども、今振り返ると、私にとつてはいい経験になったと思っています。というのも、それまでは、試験前に友人のノートを借りて、丸暗記して試験に臨んでいまし

た。コピー機が出回り始めた頃ですが、小遣いが足りなくなるぐらい、コピーしていました(笑)。これでは成績があがるはずありません。ノートにまとめる時に考えるわけで、コピーしたり、書き写したりしていたのでは、考える作業が欠落してしまうからです。留年後は、先輩に借りにくいので、自分でノートを作成するようにになりました。すると、どんどん理解が深まります。まさに目から鱗状態でも、もっと早くやつておけばと後悔しました。逆に言うと、留年していなかっただら、本当の意味での勉強のやり方は身につかなかったかもしれません。

——大学の授業で興味を持たれたものはありますか。

小澤 「経営学」の授業で、ボルボの工場の取り組みが紹介されました。それまで自動車は、すべて流れ作業で製造されていました。ボルボの試みは、チームを編成し、各チームごとに一台の自動車の製造を、最初から最後まで任せるスタイルでした。合理化の名のもとに、労働者を非人間的で単調な仕事に追いやり、生産性の向上だけを目指した形態から、人間の創造性を尊重する形態への転換です。こうしたスタートしたばかりの新しい試みが、すぐに授業で講義されることに、大きな刺激を受けま

東京の酒蔵ならではの難しさもある

——家の仕事を継ごうと考えられたのはいつ頃からですか。

小澤 創業が元禄十五年、西暦でいうと一七〇二年ですから、もう三百年以上も続いています。当時の杉皮屋根の建物に、今でも住んでいます。そんな家に長男として生まれ育ったので、物心ついた頃には、もう自分が後を継ぐしかないという覚悟を決めていたというか、あきらめていました。

——大学を卒業して、すぐに小澤酒造に入社されたのですか。

小澤 いえ、二年半、材木会社で

修行しました。家を継ぐというこ

との本質は資産管理なので、酒造りよりも、所有している山林の維持管理のための勉強が優先されたのです。もともと、その後、材木の価格が急落し、山がマイナス資産化したため、現在では酒造りが完全に主体になっています。

——酒造りの上で、「苦労されている点をお聞かせください。

小澤 酒の味を単純においしくするだけなら、そのために努力すればいいだけです。けれども嗜好品ですから、おいしいだけじゃだめで、心に残るものになければならない。これが苦心するところです。

——ブランドイメージの構築ということですね。

小澤 ブランドイメージというより澤乃井らしさといった方がよいかもしれませんね。一時期あった地酒ブームの楽しさは、各地の酒を飲むことによって、その土地の風土を感じるところにあります。土地ごとに独自の食文化がありますから、その土地の料理と一緒に飲んで、思いを馳せる。その意味では、地方の酒蔵がうらやましい面もあります。土佐なら、鰯のタタキにあう酒を造ればいいからです。ところが、東京にはすべてが揃っているだけに、逆に個性が打

ち出しにくい。

いろいろ考えて気がついたのは醤油でした。東京人は何でも醤油をかける。味覚のベースに醤油があります。ならば、醤油と相性のいい酒を考えればいいと思いました。もちろん、東京人だけが飲む酒を造っているわけではありません。けれども、なぜこの味なのかと問われた時に答えて、なる程と言ってもらいたい、東京の酒にも土地の風土を感じてもらいたいと思うのです。

——酒造りの様々な工夫をされる中で、成蹊学園で学んだことが役立っていると感じられることはありますか。

小澤 酒は嗜好品なので、人々のライフス

タイルは常に頭においておくべきです。澤乃井の主たる市場は東京です。都会生活者の嗜好、ライフスタイルに反するものはだめなわけです。東京とはいえ、青梅の田舎で生まれ育った私にとって、成蹊学園は初めて都会の息吹に触れた場でした。そこで都会の空気を吸っておいてよかったですね。大いに役立っています。例えば、ラベルや広報の方法などを、できるだけトレンドリーな雰囲気にするよう



に心がけています。もちろん、まだ完全に成功しているとはいえず、これは今後も永遠に続く課題でもあります。

焼酎ブームに対抗して「ぬる燗」の良さを見直す

——今後、特に力を入れたいテーマは何でしょうか。

小澤 十数年前に、地方銘酒という言葉が生まれて、地酒ブームが到来しました。当社を含めて中小

メーカーの売れ行きが大幅に伸びた時代です。ところが、今は焼酎に押されて四苦八苦です。新しいターゲットの掘り起こしも含めて、復権に向けてできることはしていかなければなりません。

——若者をターゲットにしているということですか。

小澤 若者にもいろんなタイプがいて、一括りにはできない時代になっています。もってターゲットを細かく絞る必要があるでしょう。我々のようなタイプの酒蔵の酒を飲んでくださる方として、例えば三十代の有職女性とか。男性より食を楽しむことに食欲ですよ。週末にはおいしい料理を食べる。それが和食だったら日本酒を格好

本学現代GP取組が 平成十八年度事例報告 代表校に選抜

少 子化時代を迎えた大学教育の改善と活性化をはかり、大学間の競争的環境作りを推進するために、近年文部科学省は、高等教育に対して、様々な改革プログラムを実施しています。現代社会の要請に応える政策課題に適合した取り組みを公募する現代GP (Good practice) もその一つで、大学に求められる評価基準の一つとなるだけに多くの大学が厳しい採択競争を展開しています。

昨年度、この現代GPに、中国語教育の改善を目指した本学の取り組み「進化する教養教育と国際化新人材の育成ー中国語コミュニケーション能力育成展開プラン」が「遊」が難関を突破し（私立大学採択率一六・七％）、本学初の現代GPとなりました。



現在、大学では、中国の国際的台頭、英語に次ぐ第二の国際言語としての役割から、中国語学習者が増大し、入学者の四割、多い時には、実に五割を超える学生が学習しています。本学の取り組みは、多くの学生が望むコミュニケーション言語としての中国語習得を実現するための教育改革案として、時代のニーズに対する適合性、改革案としての有用性、実現性の高さなどが評価理由となりました。さらに、十一月十三日には、「全国大学教育改革合同フォーラム」に於パシフィコ横浜で、「ニーズに基づく人材育成を目指したe-Learning Programの開発」部門の平成十八年度取り組み採択校の年度代表事例報告校に選抜され、取り組み内容について報告し、多くの識者の関心を集めました（写真上 報告者・取組担当代表者 法学部教授 湯山トミ子）。採択のみならず、事例報告校としての役割を得たことは、本学の取り組みに対する評価の高さと期待の大きさを感じます。

また、十二月二十一日には学内活動として「遊」フォーラム「現代GP最前線とインターネット中国語学習無料講習会」を開催しました。フォーラムでの報告「遊」の取り組み内容、今後三年間文部科学省の財政支援を受けながら展開する中国語教育モデル校としての活動状況などは、下記

ホームページをご覧ください。
<http://uranus.is.seikei.ac.jp/top.html>

四大学運動競技大会

第 五十七回四大学運動競技大会（四大戦）が十月二十日から二十二日までの三日間、学習院大学を会場校にして開催されました。四大戦は、様々な分野で交流のある成蹊大学、武蔵大学、名城大学、学習院大学がスポーツを通じて親睦を深める目的で毎年開催している伝統ある行事です。今回は、「響ひびき」というテーマで熱戦が繰り広げられました。

本学は、総合第二位の成績を収めました。

また、大会後の十月三十一日には、四大戦で活躍し、優秀な成績を収めた団体を表彰する「成績優秀団体賞授与式」が本館前にて行われ、秋晴れの下、学長よりそれぞれの団体へ賞状が授与されました。

櫛祭

第 四十五回櫛祭が、十一月二十四日から二十六日までの三日間にわたって開催されました。多くの学生の参加を得て、展示催物五十六団体、模擬店五十四団体など趣向を凝らした企画が並び、天候にも恵まれて、三日間とも多数の来場者で賑わいました。

中国の大学図書館長ら 情報図書館を見学

十 二月六日、財団法人日本科学協会からの要請を受けて、中国有名大学二十四校の図書館長ら二十七名と協会関係者四名、計三十一名の情報図書館見学を受け入れました。

当日は訪日団の方々を受入責任者である理工学部加藤明良教授らが出迎え、図書館メインフロアから四階プラネットへご案内した後、栗田恵輔学長と西藤洋図書館長が歓迎の挨拶を行いました。

引き続き、訪日団の方々はグループに分かれ自動書庫、貴重図書、閲覧室、開架書架などを見学され、その斬新なデザインと充実した設備に大変興味を示されておりました。

今、中国では多くの大学で図書館建築が検討されているそうです。本学の自然と調和し、ま



た最新鋭の設備を備えた図書館をぜひ参考に使いたい、お褒めの言葉をいただきました。

文学部国際文化学科主催 講演会が開催されました

十 月三十一日、カナダのモン

トリオール大学からカリム・ラローズ (Karim Larocque) 助教授をお迎えして、文学部国際文化学科主催ケベック文化理解講座が開催されました。「言葉の時代」(L'age de la parole) と題したこの講座では、ケベックについての一般的な紹介にとどまらず、言語と政治のかかりについてまで話が及びました。ラローズ助教授は、これまで独自の文化を主張することのなかったケベック人が、フランス語という言語を介して、一九六〇年代から独自の文化を開花させ、それが政治的な主張にまで繋がっていった時代の様子を紹介してくださいました。日頃馴染みの薄いケベックを身近に感じた、大変有意義な講演となりました。



座となりました。

会場には多数の聴衆が訪れ、熱心に耳を傾ける様子が見られました。

法学会主催講演会が 開催されました



十 一月十五日、大学四号館ホールにて、卒業生で前日本弁護士連合会会長の梶谷剛氏をお迎えして、法学会主催講演会が開催されました。

「法律家の仕事」と題して開催された本講演会では、司法制度改革にみる法曹界の現状や問題点などが紹介され、日本弁護士連合会会長の重責を担われた梶谷先生による現場の生の様子に、熱心に耳を傾ける聴講生の姿が見られました。

また、人員不足に見られる現在の法曹界全体における問題点にふれられると、その解決は相手の気持ちになって、話を的確に捉え、解決に導くことのできる人材の増加であると、法曹界を

四大戦



櫛祭



本学による大学見学

大学では、高校生の大学見学を積極的に受け入れています。十一月二十日現在、三十三校、延べ一四〇人の高校生・保護者が、総合学習、進路指導の一環として来校しています。参加は主に一・二年生であり、初めて大学を訪れる生徒も多く、とても興味を持って見学をしています。

見学することによって進学の目的意識の向上、高校生活と大学生生活の違いを認識するなど、とても良い経験になっているようです。

見学の内容は、情報図書館をはじめ、パソコン教室などの施設見学や授業体験、入試課員による、大学の概要や入試制度についての説明などです。

また今年度は初の試みとして理工学部の研究室公開、「サタデーオープンラボ（いつでもドア）」を十月から十二月までの土曜日、全九回にわたって実施し、多数の高校生の参加がありました。

高校生の感想を見ると、「先生との距離がとても近い、こんな環境では非勉強してみたい」等、本学の少人数教育を評価する声

目指す学生へむけて激励の言葉が送られました。

会場には法学部生をはじめ教職員など約五百名が参加し、大変有意義な講演となりました。



学位授与式について

二〇〇六年度成蹊大学学位授与式を次の通り行います。
日時 三月二十日（火）十時より
場所 大学体育館

式場が手狭なため、式場への入場は修了者・卒業生ご本人に限らせていただいております。

このため、ご来校の際には、モニター放送により式の様子を別会場でご覧いただくこととなります。予めご承知おきください。また、お申し込みは、大学四号館ホール他です。

（お車でのご来校はご遠慮願います。）

中学体育祭

九月十五日、中学体育祭を開催しました。例年四〇〇mグラウンドを使用しますが、今年度はコンディションの関係で人工芝のサッカー場で実施しました。クラス別縦割り(G組は二年生に入る)で競技を行い、大玉ころがし、二人三脚障害物競走、騎馬戦、学年別クラス対抗リレー、棒引き等で力を発揮しました。競技終了後、前庭で各ブロックごとの応援合戦があり、大声を張り上げ、皆が一丸となって勝利に向け完全燃焼しました。



高校体育大会

高校体育大会は当初予定していた九月十三日、十四日が雨に見舞われ十九日、二十日に延期となりました。グラウンドコンディションも悪く、一部は競技を変更して開催しました。バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、ドッジボール、



卓球、フットサル、サッカー等の種目で行われ、大きな怪我もなくクラス対抗で熱戦を繰り広げ、無事終了しました。

祭祭(中高文化祭)

中高文化祭は九月三十日、十月一日の二日間にわたって催されました。中高生は一学期から準備をし、クラスや団体によつては夏休み中も活動してきました。昨年より来場者が多く、二日目の午後にはプログラムもなくなってしまうほどでした。今年は校舎の新築工事の関係で中学生は前庭の使用ができませんでしたが、第一体育館では三年生のクラス展を中心に男女の硬式庭球部、女子バレー部等



の夏は北海道、沖縄、韓国の学習旅行に百十二名の高校生が参加をしました。ここでは高等学校地歴科伊藤悟教諭の「韓国学習旅行を終えて」を紹介します。

高等学校 学習旅行

韓国学習旅行を終えて。韓国学習旅行は、常に国際情勢や日韓関係に影響されてきました。「九・一」テロや「イラク戦争」による中止ということもありました。また昨年は竹島(独島)問題で日韓関係が緊迫する

が熱いパフォーマンスを披露していました。中学H・R棟では文化部の展示や一・二年生の夏の学校の体験展示を、高校のH・R棟ではバンド演奏やクラス展、有志展等を発表しました。大教室では中高のウインドオーケストラ、ストリングス、ダンス、演劇部等が日頃の成果を発揮し、高校前庭のイベントステージでは毎年恒例の女子バレー部によるチャリーディング、有志によるソーラン節や大道芸、吹奏楽部の演奏が周辺の縁日に加わり、祭りらしい雰囲気を出していました。例年文化祭の最後を飾る打ち上げ花火が雨のため中止になりましたが、体育館で行われた後夜祭ではクラブや有志による発表が行われ、多くの生徒が参加し盛り上がりしました。

高校生徒会 あしなが募金

十月二十八日の午後、高校生徒会を中心に吉祥寺駅で「あしなが募金活動」に参加しました。ここでは生徒会長の島田彩子さんのレポートを紹介します。

この度生徒会では、あしなが学生募金に参加しました。私たち生徒会メンバーは全部で十二人いる中の七名しか参加することが出来なかったのですが、ボランティアで参加してくれる人がいたため、十一人集まり行いました。

集合場所へ向かうと、そこには一人の大学生がいました。その方は幼いころ父親を自殺で亡くし、あしなが育英会の奨学金で高校へ行き、今もそのおかげで大学へ行っていると話していました。私はその話にひどく胸を打



中で行われました。今年も小泉前首相の靖国神社参拝や朝鮮民主主義人民共和国(以下、「北朝鮮」と略す)によるミサイル発射実験の強行といった状況下での学習旅行でした。こうした中で北朝鮮との軍事境界線近くまで足を進めたり、ソウル市内での高校生との交流などのプログラムを実施するについては、その意義を充分認識するとともに、一種の緊張感をもって学習旅行を実施しました。この緊張感は生徒にも事前に伝えたいつもりです。

旅程は以下に示したとおりです。二年前の学習旅行ではソウル周辺だけでなく、慶州・釜山を訪れましたが、昨年より、近代以降の日韓関係および韓半島の現状に絞るという観点から、ソウル周辺をじっくりと見学するプランに改めました。集合を成田国際空港に変更、日数も四泊五日としました。またホテルは以前に使用していたオリンピック・パークテルに変更しました。実はこれが今回の学習旅行の思わぬ副産物となりました。このホテルはスポーツの国際大会に出場する日本選手がよく使用するホテルで、今回も女子バレーボールの国際大会に出場する日本・ロシア・ポーランドの代表チームが宿泊していました。柳本監督・竹下主将以下の選手たちと間近で接することができ、女子バレーボール部の部員が参加していたこ

ともあつて、生徒たちには予定外のうれしいおみやげができました。



【八月二十四日】成田国際空港→仁川国際空港→堤岩里教会→ソウル市内で夕食(民俗舞踊鑑賞)→オリンピック・パークテル泊(ソウル)

【八月二十五日】ホテル→西大門刑務所歴史館→新羅免税店→ソウル市内で昼食→光新高校(交流会)→オリンピック・パークテル泊(ソウル)

【八月二十六日】ホテル→自由の橋→第三トンネル→都羅山統一展望台→展望台近くで昼食→鰐頭山統一展望台→仁寺洞散策→ソウル市内で夕食→NANTA公演鑑賞→オリンピック・パークテル泊(ソウル)

【八月二十七日】ホテル→独立記念館→民俗村内で昼食→民俗村見学→水原華城見学→ソウル市内で夕食→オリンピック・パークテル泊(ソウル)

たれました。私たちは毎日当たり前のように学校に通っているけれど、それは当たり前のことなかではないのだ。すごく幸せなことなのだ、一日一日をもっと大切に生きなきゃだと思いました。私たちが行うちょっとした行動で、救われる人は山ほどいるので

す。思っているだけではなく行動に出ることが今の私たちには必要なのです。今回のこの経験を経て、出来る限り様々な行動を生徒会でも、私個人としてもやってみたいと思いました。

二〇〇六年度生徒会長 島田彩子

【八月二十八日】ホテル→景福宮見学→仁川国際空港→成田国際空港→解散

先ほども述べましたが、この学習旅行の目的は、日本と韓半島との関係を近代以降に絞って跡付けること、いまだ分断と休戦状態にある韓半島の現実を実感するものです。現状については、第三トンネルの見学を復活し、その結果バスに完全武装の兵士が入ってきてバスボートのチェックを行うという緊張感を味わうことができました。天候がやや不順で、統一展望台では北朝鮮があまりはつきりとは見えず、その点は残念でしたが分断の現実には生徒たちに大きな印象を残すことができました。日本の植民地支配については、感想文にあるように堤岩里教会と西大門刑務所歴史館が強烈な印象を与えました。「三・一独立運動」に際して起こった堤岩里虐殺事件の現場と植民地支配下での独立運動の闘士たちが多く投獄され(中には有名な柳寛順を含む)、虐殺された現場を見た生徒たちは相当のショックを受けたようです。本物を見ることの重要性を改めて実感しました。実はここを見た後に交流会が開かれたので、生徒たちはかなり不安をもって交流会に臨みました。しかしそこで韓国の高校生の熱烈な歓迎と積極的な交流の意志が生徒たちの心を開かせ、感動的な交流会

中学校遠足

中学校の遠足は中間試験の翌日十月二十七日に曇天の中、予定通りに行われました。

一年生は奥多摩の氷川キャンプ場でクラスの中で班分けをし、飯盒炊爨を、二年生は三年生での修学旅行での班別行動の練習も兼ねて、鎌倉・北鎌倉をグループ行動で見学しました。三年生は武蔵五日市のバーベキューランドでクラスの中で班分けをし、思考をこらしながら鍋料理に挑戦しました。

運動部・文化部の活躍

中学

● 野球部

第9ブロック大会連覇 都大会ベスト16

野球部は「第9ブロック中学校野球大会」秋季・冬季両大会において、約40校参加の中、見事優勝を飾りました。秋季大会では優勝後、10月21日(土)から行われた都大会に出場し、32校中ベスト16の成績を収めました。

第9ブロック中学校野球秋季大会 ……優勝

開催日: 9月9日(土)～10月8日(日)

第9ブロック中学校野球冬季大会 ……優勝

開催日: 10月14日(土)～11月26日(日)

*第9ブロック: 武蔵野、三鷹、狛江、調布、府中地区

● 男女硬式テニス部

2006年 東京都新人大会

【個人の部】9月23日(祝)、24日(日)

男子シングルス ……第3位 有我雄汰

……………第5位 藤牧 梓

男子ダブルス ……第3位 有我・三浦ベア

……………第5位 角替・藤牧ベア

【団体の部】10月9日(祝)、14日(土)

男子 ……第3位・ベスト4

女子 ……第5位・ベスト8

2006年 関東新人大会11月12日(日)

【団体の部】

男子 ……ベスト8

女子 ……ベスト8

高校

● ラグビー部

第86回全国高校ラグビーフットボール大会東京都予選・平成18年度全国高校総合体育大会東京都予選(第2地区)において第3位の成績を収めました。

● 高校柔道部

11月18日(土)、19日(日)

東京都第四支部新人柔道大会

男子無段 66kg以下 優勝 手塚智也

男子無段 66kg以下 5位

81kg以上 5位

女子無段 52kg以下 3位

女子有段 63kg以下 4位

● 全国高等学校総合文化祭(インターハイ)囲碁部門に高校3年の霍田裕明君が東京都代表チームの副将として出場

8月5日(土)・6日(日)、京都市伏見区パルスプラザにおいて、全国高等学校総合文化祭(インターハイ)囲碁部門が開催されました。東京都は6回戦まで勝ち進み、霍田君は5勝1敗と立派な成績を収めました。

甲南小学校との 教員相互交換事業

南小学校と成蹊小学校に所属する教員の交換派遣の覚書を二〇〇五年十一月に調印しました。

将来的には長期の（一年または二年の）教員相互交換を目指していますが、今年度はまず短期間の相互派遣を複数回行うことを申し合わせました。

甲南からは、五月の運動会および前日準備の視察に二名の先生が来校されました。続いて十一月には、校内授業研究参加のため、二名の先生が小学校で三日間を過ごされました。

成蹊からは、九月の五学園教育懇談会が甲南大学で行われた際に、運営担当教員が甲南小学校を訪問し、相互派遣の計画について実質的な協議を行いました。また十月には、三名の教員が甲南の運動会および前日準備の様子を観察しました。

まずはお互いを良く知るところから、教員相互交換事業の基盤づくりを進めてまいります。



…一年生が綴る 初めての文化祭…

学校の文化祭は、十月二十一日（土）と二十二日（日）の二日間行われました。

桃の会委員会が呼びかけた今回の文化祭スローガンは「文化祭劇も展示も 全校の一人ひとりのオリジナル」です。

一・三・五年の展示も二・四・六年の舞台も、日ごろの学習をていねいにまとめあげ、シンプルで中身の濃い発表となりました。教員と子どもたちが一緒になつてつくり出したオリジナルの発表は、桃の会委員会のスローガンに応えたものとなりました。

今年度の「小学校の近況」は、入学式の紹介から一年生に焦点を当ててきました。一年生の子どもたちは、入学から八ヶ月を過ぎて、自分たちの生活を文章で表現できるように成長してきました。初めての文化祭も、一年生の子どもの日記を交えて紹介することにします。

◇文化祭プログラム

へ一年展「ゆかいな たのしい なかまたち」学年の紹介文

一年生は、身近にある様々なものや人に働きかけ、また働きかけられて成長しています。大人たちが目にも留めない小石のようなものでも、感じたことや想像したことを思いのままに表現し、友だちと協力して、楽しい仲間づくりをしています。

また、同じ材料をもとにした造形活動であっても、一人ひとりの子どもの感覚や発想は、個性にあふれています。

子どもたちが材料に働きかけ、一人ひとりの持ち味が生かされた「ゆかいな たのしい なかまたち」をお楽しみください。



◇文化祭はじめの会のことば

一年生は、てんじはつびょうをします。はつびょうするものは、石のこうさくで、えがきみて、やきものと、とりのえです。

石のこうさくは、あきのえんそくでいったま川でひろってきた石をよく見て、かんがえ



てからつくったものです。

えがきみて、りんごや、かきや、みかんやさつまいもなどを見て、だれに出したいかおもいながら、えとことばでかいたものです。

やきものは、ねん土をじぶんの手でこねこねして、おさらやコップなどをつくりました。おさらはたまごやきなどをのせて食べてみると、いつもよりおいしく食べられました。

とりのえは、はくせいとのりを見ながら、わりばしにスミをつけてかき、クレヨンでいろをつけてあげたものです。

一年生のはつびょうは、きゅうしよくしつの二かいにてんじしていますから、見に来てください。

◇一年生が「感じた文化祭」へぶんかさい

きょうは、ぶんかさいです。

まずははじめの会です。ぼくは五人の中の一人です。ぼくは五びょうまえのとき、きんちゅうしました。カーテンがあいた



です。みんなとおどることができてたのしかったです。たくさんひとがきてくれてうれしかったです。またらいねんのぶんかさい、たのしみです。

◇一年生保護者の声

このように、一年生の子どもたちが大きく心動かされた文化祭でしたが、保護者からも次のような「声」が届きました。

○階段を昇り、二階の一年生の展示会場に足を踏み入れたとたん、とても温かみのあるやさしい空気に包まれました。幼いけれど、一生懸命さが伝わってくる作品と、それを引き立てる展示の工夫が素晴らしいです。

入口の書に始まり、クラスカラーを感じさせる先生方の書や言葉。子ども達の製作風景を写した写真の裏のスキにとまっている草で作った虫たちも素敵でした。

今年の文化祭は、子ども達にこんな力があつたのかと、驚きと共に大変感動させられた二日間でした。

へぶんかさいのじゅんび

ぼくたちは、いしをはこんだりリヤカーのうしろを見たり、すだれをはこんだり、いろいろすることがあつて、ぼくは、目が回りそうだった。もちろん、手足、体、顔、すね、もも、手首、あしくびがじんじんして、しびれていた。それでもがんばった。リヤカーは、おもくて、大きくて、てつと木でできていて、かんじようだった。

へ石のこうさく

ぶんかさいでころにのこつたのは、石のこうさくです。石のこうさくは、たま川で見つけた石をかみの上にのせて、ボンとつけて、きゅうしよくしつの二かいでてんじしました。ひがしぐみは、とうきようタワーやてつどうをつくっていました。みなみぐみは、ちっちゃい石をかいがんにして、うみをつくっていました。にしぐみも、みなみぐみとおなじものをつくっていました。きたぐみは、まちやどろぶつ、うみなどをつくり



ました。ぼくは、あきのしぜんをつくつて、とんぼのえをかきました。二ねん生でもがんばります。

へえがき

きょうは、えがきみてをしました。まつかなりんごをかきました。れんしゅうをしたときはうまくかけなかつたけれど、ほんばんのときはうまくほそかけました。りんごのえをかめらまんにとってもらいました。とてもたのしかったです。わすれられないくらいたのしかったです。またやりたいです。

へファイナレたのしかった

ぶんかさいのさいごに、ファイナレというのがありました。ファイナレというのは、ダンスをしたりするのです。六ねん生は、がつきで、音がくをならしてくれました。ダンスは二つあって、一つは「わになつておどろう」です。二つ目は、「サンバ・ダ・せいけい」です。がんばって、できました。ビデオにとられたから、すこしはずかしかったです。



へファイナレ

みんなで力をあわせてがんばったファイナレは、とてもたのしかったです。いろんながつきにあってからだをうごかしておどりました。いろんなぼーすがわいて、ちようびりおかあさんがいてはすかしかつたけれど、おかあさんが、「じょうずだったね。」といってくれてうれしかったです。

◇来年の文化祭が楽しみだへぶんかさい

音がくをきくと、からだがいぜんとおどりだしてしまうくらいファイナレのおどりをあそばしました。ほんばんでは、ドキドキしたけれど、たくさんれんしゅうしたおかげでじょうずにおどれました。らいねんのげきもきょうのおどりにみにみなとたのしみたいです。

へぶんかさい

ぼくはぶんかさいで、ふいなれをやりました。ふいなれではいろいろ、おどりました。がつさうもとてもかっこよかった

とき、みんなに見られていたので、みんなががんばれというこえが心の中にきこえました。一年生のばんのとき、ぼくはおちつきました。ぼくが、しゃべるばんになりました。はくせいのえを見せながらせりふをいきました。れんしゅうをした中でも一ばんよくできたとおもいました。

へぶんかさいがたのしみだ

ぼくは、ぶんかさいがたのしみでした。そしていよいよぶんかさい。十月二十一日土曜日、ぼくは、からだがふるえました。そして、ロボットみたいに、小学校にいかなくなりました。おにちゃんにひっぱられて、小学校によやくつきました。

へぶんかさいのじゅんび

きょう、ぼくは、ぶんかさいのじゅんびをしました。石のさくひんは大きかったですごくおもかったです。ぶんかさいのじゅんびはとてもたいへんだなあ、おもいました。いっしょうけんめいにつくつたので、みんなに見てほしいです。



○「文化祭 劇も展示も 全校の一人ひとりの オリジナル」のスローガンのもと、一人ひとりの心をこめて作られた個性豊かな作品が、みんなで協力して作られたスペースで仲間と触れ合い、楽しそうにしている様子を微笑ましく拝見させて頂きました。子どもも他の学年の舞台や展示を見て、「すごいんだよ！」「おもしろかった！」「私も○年生になったらできるのかな！」と様々な感動を心に残した文化祭となったようです。

改めて言うまでもなく、全校の子どもたちが、それぞれのオリジナルを見事に表現した文化祭でした。次の一年生の日記がこれを語ってくれています。

へたくさん見たげき

きょう、ぶんかさいでげきを見ました。たくさん見たけど、一ばんいいつというげきは、なかったなあ。なぜかという、どれもスゴイとおもったからです。あしたまたのしみです。どんなことがあるのかなあ。



「安倍晋三氏 内閣総理大臣就任をお祝いする会」が 開催されました



成蹊人について語る安倍氏

去る11月22日、成蹊学園と成蹊会（同窓会）では、卒業生の安倍晋三氏（法学部8回卒）が内閣総理大臣に就任されたことをお祝いする会を赤坂プリンスホテル（千代田区）において開催致しました。当日は、1500名を超える卒業生ならびに学園関係者が一同に集い、安倍氏の首相就任をお祝いするとともに同窓の絆を深めました。

フジテレビアナウンサーの高島彩さん（法学部32回卒）の司会進行により、大変和やかな雰囲気の中、小学生や大学生からの質問に安倍氏が答えるコーナーや、応援団長とチアリーダーから“フレー、フレー、安倍先輩”のエールが送られるなど、安倍氏も終始、笑顔で楽しまれました。

安倍氏は「会場が本当に温かい雰囲気満ちていて、疲れも一気に癒された思い。やはり同じ学び舎で学んだ絆を改めて感じています。成蹊で学んだことを、一つひとつ実践していきたいと思う次第です。」と挨拶し、学生に向けて「地域や世の中のために自分も何かしたいと思っている人は若い人たちにもずいぶん多いのだと思います。しかし、そういうことを自分が主張するのがなんとなく恥ずかしいと思っている人が多いのではないだろうか。私は、道を作ればどんどん地域や社会、または世界のために貢献してくれる、そういう能力を持っているし情熱を持っている人が若い人には多いと思っています。ですから、決して日本の未来は暗くないと期待をしています。」と温かな言葉が贈られました。

※この会の参加申し込みは、成蹊会年会費納入会員及び学園関係者の方々にご案内致しました。

※この会は参加者からいただきました会費のみで運営されました。安倍氏ご本人または安倍晋三事務所等へ会費の一部を献金することは一切ございません。



お祝いの挨拶を述べる成蹊学園岸理事長



応援指導部佐藤君からのエール



瀧成蹊会会長による乾杯の発声



司会の高島彩さん（法学部32回卒）



チアリーダーによる応援パフォーマンス



満員の会場で安倍氏自ら卒業生に握手を求めるシーンが数多く見受けられました。

知っているようで知らない月経のこと

月経とは？

現代女性は生涯のうちでどれくらい月経を経験しているかご存知ですか。十二〜五十歳の約三十八年間で、一回の持続日数を五日とすると、生涯に約六年もの間、女性は月経と共に過ごしています。

月経は妊娠を目的とした女性特有の機能です。排卵後、子宮の内側の子宮内膜と呼ばれる部分が血液をたくさん含んで厚くなり妊娠に備えます。受精が成立しないとその準備は不要となり、結果子宮内膜は剥がれ血液と共に排出されます。それが月経です。月経前、中、後に女性の身体には様々な身体的変化が現れます。どのように変化するか見てみましょう。

月経痛の原因

月経中、子宮内は子宮内膜が剥離することにより軽い炎症状態になっています。その際にプロスタグランジンという、炎症時に放出される物質が子宮内膜で分泌されます。これは、痛みの感受性を高める物質で、月経痛を引き起こし、全身に回ると吐き気や頭痛が生じます。加えて、この物質は筋肉を収縮させて血流を低下させてしまうため、骨盤内は血行不良となり、下腹部痛や腰痛の原因となります。この期

間は体を温かくして血行を保つようにし、心身ともにゆったりと過ごすことが大切です。そして、鎮痛剤はプロスタグランジンの過剰分泌を防いでくれるので、早めに飲むようにしましょう。

月経後〜排卵

月経後〜排卵前は、胸が大きくふくらみ、骨盤が開まって、ヒップも上がります。肌は潤い、気持ち前向きになります。この時期は心身ともに活動的で、勉強や仕事など全力投球するならこの時期がおすすです。

排卵〜月経前

排卵〜月経前は、子宮内膜に着床した受精卵が無事に発育するように女性の体に変化します。ホルモンの働きで、体温が上昇、血管が拡張するため血行がよくなり、血液によって酸素や栄養が受精卵に十分に運ばれるようになります。また、この期間は体温が高いため、皮膚表面の水分が多く蒸発しやすくなり皮膚は乾燥傾向になります。しかし一方で、皮脂の分泌量が増えるため、肌が出やすくなります。ビタミンB2（レバー・さんま・納豆・牛乳）が脂質の代謝を促進するので、十分に摂るとよいでしょう。また、受精卵が発育するためには十分な水分が必要なので、体は水分

を体内に溜めようとします。そのため、乳房が張ったり、むくみなどがみられます。水分を控えるといでしょう。また、気分が高揚して活動的になるあまり、子宮内の受精卵が流れ落ちたりすることの無いように、どちらかというと抑うつ的な気分になります。

月経直前は、エストロゲンという女性ホルモンの分泌が低下することにより、セロトニンの分泌が減少します。そのためイライラしやすく、ちよとしたことで怒ったり、他の人にあたったりすることがあります。この時期はカルシウムやビタミンB6（まぐろ・さんま・豚肉・バナナ）を摂るようにし、プレッシャーのかかるような事は、可能な限り時期をずらすとよいでしょう。欧米では、仕事のプランを立てる時に、月経周期を考慮している女性も多いとのこと。

各周期に現れる症状について理解し、適した日常生活を送るようになると、より快適な日々を過ごせるようになると思います。現代女性は、女性としての能力だけでなく、個人の能力を生かして社会で活躍するようになりました。各自に備わった様々な能力を発揮して、より多くの女性に輝いてほしいと思います。

養護教諭 瀧澤 信子

学 園 T o p i c s

成蹊大学ラグビー部がAグループに昇格決定！

12月10日（日）、埼玉県営熊谷ラグビー場で大学ラグビー対抗戦入替戦が行われました。成蹊大学ラグビー部は先に行われた関東大学ラグビー対抗戦Bグループを全勝で優勝、Aグループ（一部相当）昇格をかけた入替戦では立教大学に13対8（前半6-5、後半7-3）で勝利し、悲願のAグループ昇格を決めました。

午後2時からのキックオフで、前半14分に成蹊大学のペナルティーゴール（PG）で3-0と先制。同23分に立教大学にトライを奪われ3-5で逆転されましたが、その後追加点を許さず、逆に同38分に成蹊大学がPGを決めて6-5の1点リードで前半を終了しました。

後半は、28分に3年生の矢島君が左スミにトライを決め11-5、ゴールキックも成功して13-5と成蹊大学が点差を8点と広げました。後半34分に立教大学がPGを決め13-8とその差を1トライ5点差までつめ

寄りましたが、成蹊大学も必死に耐え、ついにノーサイド。見事立教大学に勝利しました。

ラグビー部は1923（大正12）年に創部、2006年で83年を迎えました。旧制高校時代の目覚しい活躍を経て、新制大学設立後もその実力が認められ、昭和25年、旧制大学で運営されていた伝統の関東大学対抗戦グループへの加入を果たしました。

平成9年に16チーム1組ではなく、リーグ戦グループに変わってAグループ・Bグループそれぞれ8チームの2部制が採用されて以来、常にBグループに甘んじてきた成蹊大学ラグビー部でしたが、今回入替戦を制し初めてAグループへ昇格できたことで、成蹊大学ラグビー史に新たな足跡を残しました。

選手の皆さんへ心よりお祝いを申し上げます。

